

NY マーケットレポート (2016 年 11 月 11 日)

NY 市場では、フィッシャー・FRB 副議長が「段階的な緩和解除の論拠はかなり強い」と発言したことで、12 月の利上げの可能性が示唆されたとの見方が広がったことや、ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を上回り、6 月以来 5 ヶ月ぶりの高水準となったことが好感され、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。ただ、米国ではベテランズ・デーで一部市場が休場となるなど、市場参加者も少ないことから、値動きは限定的となった。為替以外では、原油や金価格が大きく下落、ダウ平均株価は小幅高となり、終値ベースでの最高値を更新した。

2016年11月11日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	106.72	106.94	106.26
EUR/JPY	116.36	116.49	115.92
GBP/JPY	134.16	134.28	133.45
AUD/JPY	81.10	81.43	80.38
EUR/USD	1.0907	1.0924	1.0876

LONDON	高値	安値
USD/JPY	106.88	106.05
EUR/JPY	116.48	115.31
GBP/JPY	134.92	134.02
AUD/JPY	81.17	80.40
EUR/USD	1.0911	1.0854

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	106.69	106.82	106.23
EUR/JPY	115.81	116.33	115.52
GBP/JPY	134.50	134.77	133.89
AUD/JPY	80.58	80.95	80.26
NZD/JPY	76.05	76.54	75.87
EUR/USD	1.0856	1.0920	1.0830
AUD/USD	0.7553	0.7610	0.7525

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18847.66	+39.78
S&P500	2164.45	-3.03
NASDAQ	5237.11	+28.32
日経225 (CME)	17420	-75
トロント総合	14555.41	-188.84
ボルサ指数	44978.25	-246.13
ボエスバ指数	59183.51	-2017.45

11/14 経済指標スケジュール

08:50 【日本】3Q GDP
 08:50 【日本】3Q GDPデフレーター
 09:01 【英国】11月ライトムーブ住宅価格
 11:00 【中国】10月鉱工業生産
 11:00 【中国】10月固定資産投資
 11:00 【中国】10月小売売上高
 13:30 【日本】9月鉱工業生産
 13:30 【日本】9月稼働率指数
 17:15 【スイス】10月生産者輸入価格
 19:00 【欧州】9月鉱工業生産
 22:00 【ポーランド】9月経常収支
 22:00 【ポーランド】9月貿易収支
 22:00 【ポーランド】10月消費者物価指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1224.30	-42.10
NY 原油	43.41	-1.25
CME コーン	340.25	-3.25
CBOT 大豆	986.00	-12.00

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	休 場	0.915%
3年債	休 場	1.167%
5年債	休 場	1.557%
7年債	休 場	1.919%
10年債	休 場	2.150%
30年債	休 場	2.935%

*米債券市場はVeterans Dayのため休場

ドイツ10年債	0.308%	0.274%
英国 10年債	1.364%	1.342%

11/14 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 挨拶、会見
- ・リッチモンド連銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 00

メキシコペソが対ドルで最安値を更新。



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

米国市場は、Veterans Day（ベテランズ・デー、退役軍人の日）のため、一部市場が休場

退役軍人の日（11月11日）は、第一次・第二次世界大戦の終結を記念する休日として、ウィルソン大統領が終戦の日になんで11月11日を休日にした。休日はArmistice Day（アーミスティス・デー、休戦記念日）と呼ばれ、1954年にVeterans Dayに改称した。ベテランズ・デーには無名兵士の墓で特別追悼式が行われ、アメリカ国民は戦争で戦った兵役経験者を思い出し敬意を表する。

22:30

《 要人発言 》

フィッシャー・FRB 副議長

- ・「段階的な緩和解除の論拠はかなり強い」
- ・「世界で政策の著しいかい離が生じる可能性は高い」
- ・「多くの米金融当局者は財政政策拡大の利点を認識」

23:00

《 経済指標の結果 》

9月メキシコ鉱工業生産（前月比） 0.1%（予想 -0.1%・前回 -0.4%）

9月メキシコ鉱工業生産（前年比） -1.3%（予想 -0.9%・前回 0.2%）

前回発表の0.3%から0.2%に修正

9月メキシコ製造業生産（前年比） 0.4%（予想 1.5%・前回 3.6%）

前回発表の3.7%から3.6%に修正



出所：Bloomberg

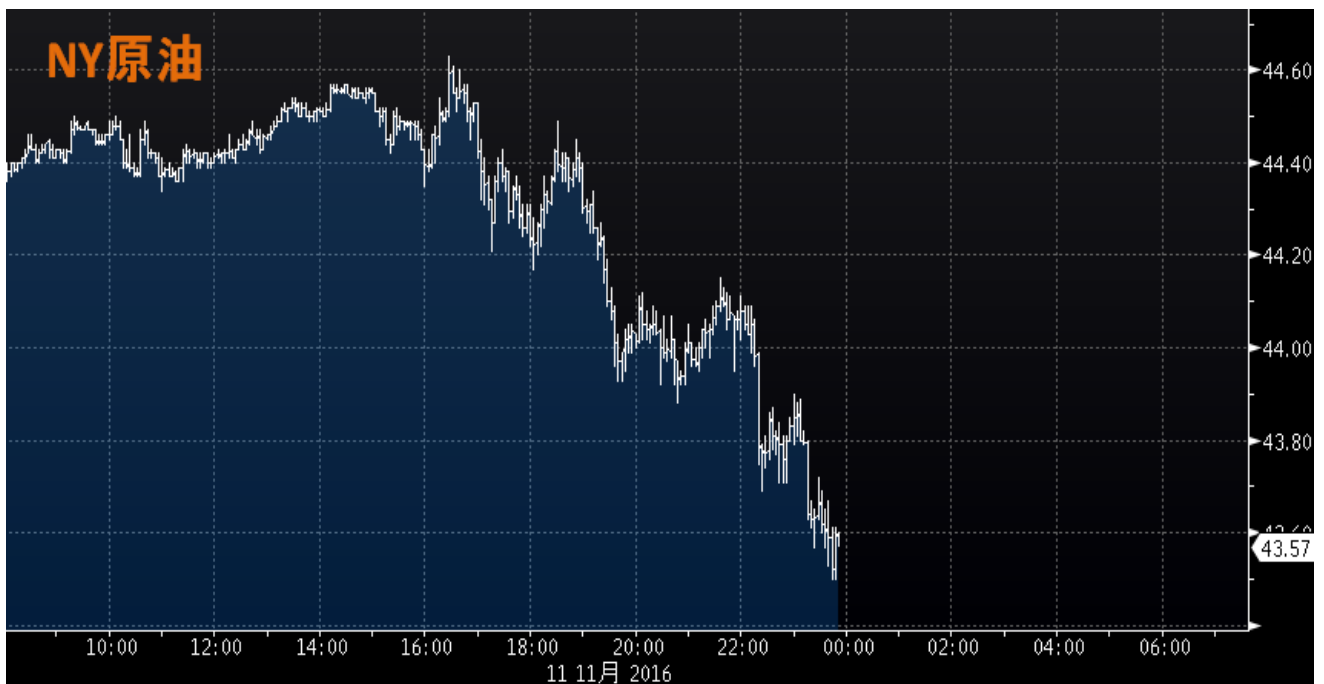


出所：Bloomberg

《海外の話題》

OPEC（石油輸出国機構）が発表した10月の原油生産量は、前月比23万6700バレル増の3364万3000バレルと過去最高を更新した。サウジアラビアやアンゴラは減少した一方、イラクやリビア、ナイジェリアが増加した。OPECは9月28日の会合で、原油生産を日量3250万-3300万バレル近辺に削減することで合意しており、今月末の総会で減産の各国割り当てに決着を付ける方針だった。10月実績を考慮すると、64.3万バレル相当の調整が必要となる。

加盟国別では、ナイジェリアは17万0200バレル増の日量162万8000バレル、リビアは16万7500バレル増の52万8000バレル。イラクは8万8300バレル増の456万1000バレル、イランは2万7500バレル増の日量369万バレル。一方、サウジは5万1700バレル減の日量1053万2000バレル、アンゴラは16万5000バレル減の158万6000バレル、ベネズエラは2万2800バレル減の206万7000バレルだった。



出所：Bloomberg

0 : 00

《 經濟指標の結果 》

11月米ミシガン大学消費者信頼感指数 91.6 (予想 87.9・前回 87.2)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

	11月速報	10月	9月	8月	7月	6月
消費者信頼感	91.6	87.2	91.2	89.8	90.0	93.5
景気現況指数	105.9	103.2	104.2	107.0	109.0	110.8
消費者期待指数	82.5	76.8	82.7	78.7	77.8	82.4
1年インフレ	2.7	2.4	2.4	2.5	2.7	2.6

11月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は、市場予想の87.9を上回る91.6となり、10月の確報値から4.4ポイント上昇し、6月以来5ヵ月ぶりの高水準となった。現状指数は105.9と10月確報値から2.7ポイント上昇、先行指数は82.5と10月確報値から5.7ポイント上昇となった。また、1年後のインフレ期待は2.7%と10月確報値から0.3ポイント上昇、5年後のインフレ期待も2.7%と0.3ポイントの上昇となった。

米ドル=円, 1分足, #100



出所 : Net Dania

<< 欧州株式市場 >>

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 指数は、ポンドが対ドルで上昇したことが嫌気されて売りが優勢となり、大幅下落となった。一方、独 DAX 指数は、米大統領選に勝利したトランプ氏の経済政策の恩恵が期待され堅調な動きとなった。



出所 : Bloomberg

<< NY 金市場 >>

NY 金は、中心限月が前日比 42.10 ドル安の 1 オンス=1224.30 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米大統領選に勝利したトランプ氏の経済政策への期待を背景に投資家のリスク志向が強まる中、比較的安全な資産とされる金を売る動きが加速した。また、FRB が 12 月に追加利上げに踏み切るとの警戒感も圧迫要因となった。終値ベースでは、6 月上旬以来約 5 カ月ぶりの安値水準となった。



出所 : Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 1.25 ドル安の 1 バレル＝43.41 ドルで取引を終了した。

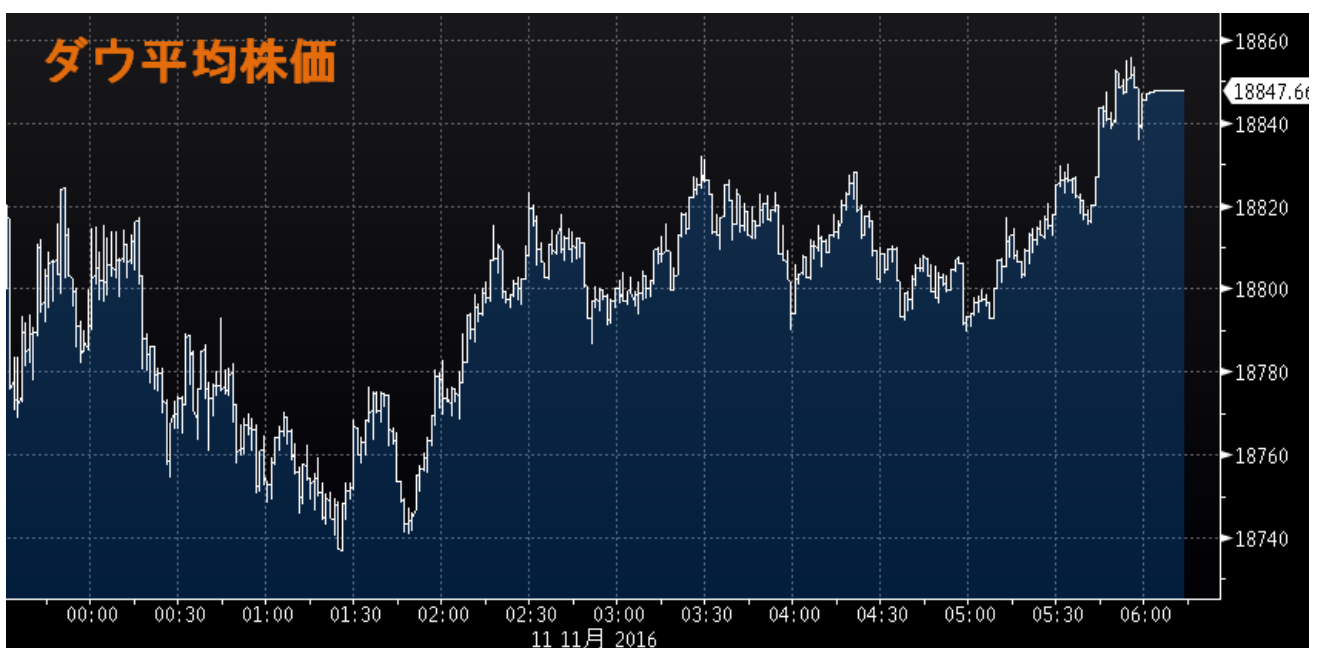
NY 原油は、OPEC（石油輸出国機構）が発表した月報で加盟国の 10 月の生産高が増加したことが明らかとなり、減産に向けた調整が難航するとの見方が一段と強まった。また、米国内の石油掘削装置の稼働数が増加したことも材料視された。終値ベースでは、9 月中旬以来約 2 ヶ月ぶりの安値となった。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

米株式市場は、ベテランズ・デーの祝日で市場参加者が少なく、序盤から軟調な動きとなった。また、週末であることから、積極的な売買が見送られたこともあり、主要株価は終盤まで小動きの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 70 ドル安まで下落したものの、終盤には 47 ドル高まで上昇する場面もあった。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、米当局者の年内利上げの可能性を示唆する発言や、消費者関連の経済指標が予想を上回る結果となったことから、ドル買い・円売りが進み、ドル/円は堅調な動きとなった。ただ、ベテランズ・デーの祝日で市場参加者が少なくやや値動きは限定的となった。ただ、米国の利上げ期待を背景に、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。